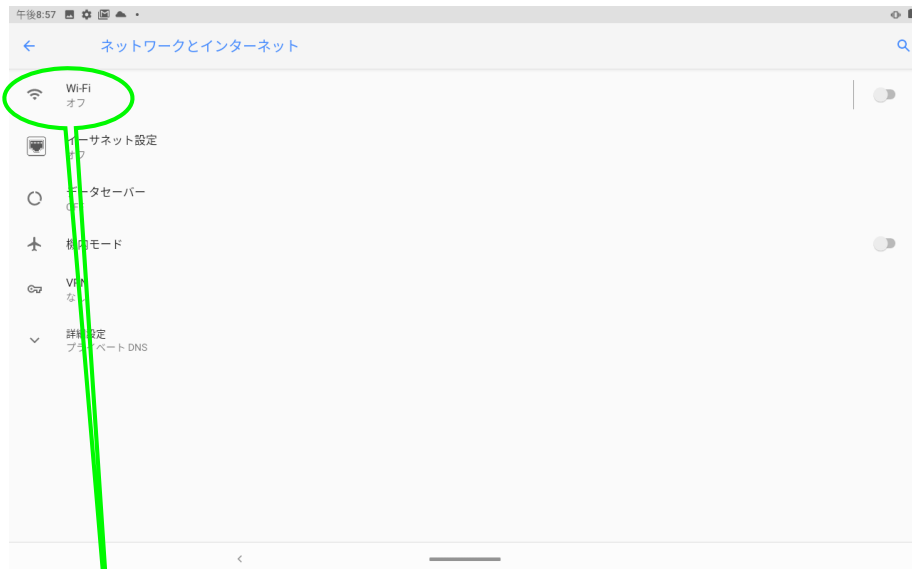


アプリ一覧の中から、 設定をタッチする。

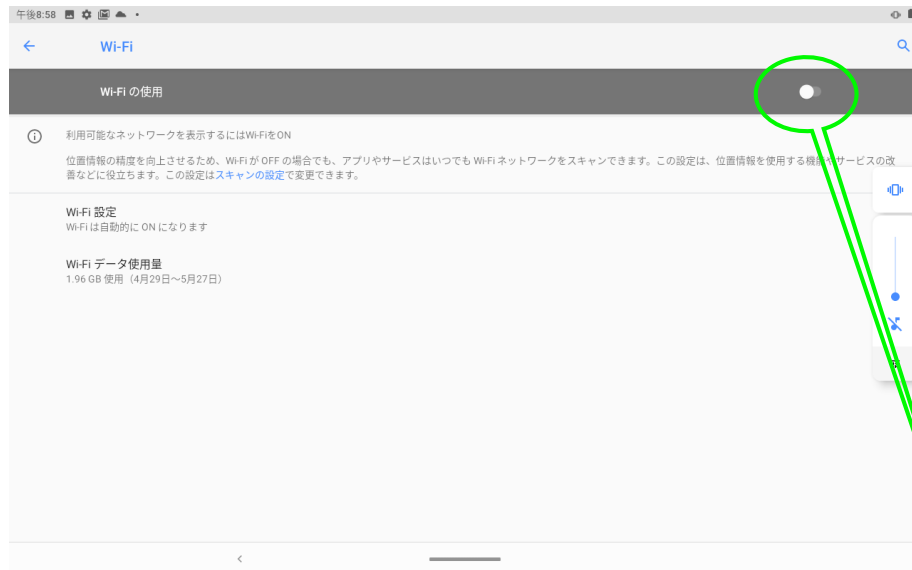


表示された一覧の中の  ネットワークとインターネット
Wi-Fi、データ使用量 をタッチする。




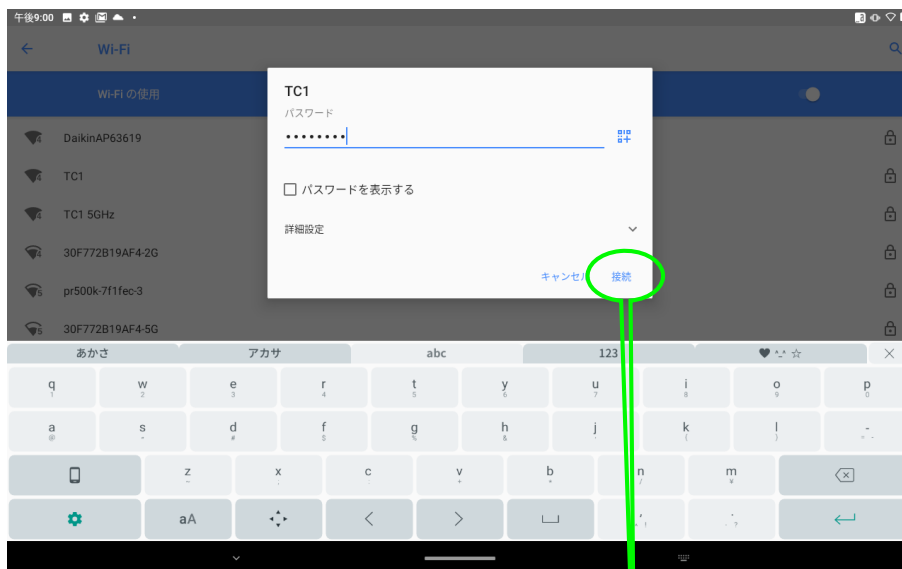
すでに Wi-Fi が使えるなら、2 ページ先にすすむ。
(いちど Wi-Fi がセットされると、つぎからは自動的に ON になります)

Wi-Fi
オフ をタッチする。



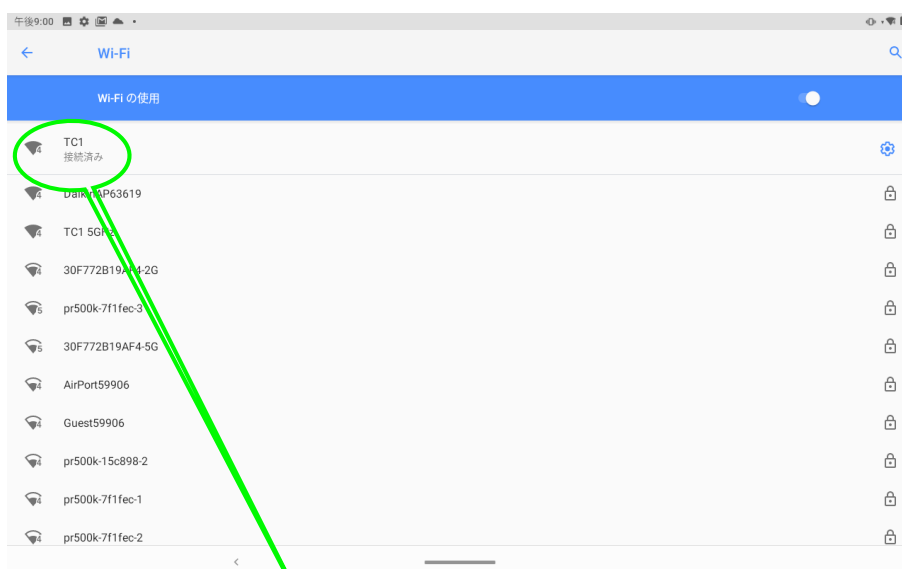
Wi-Fi の使用

(i) 利用可能なネットワークを表示するにはWi-FiをON と表示されるので、右側にある  の白ボタンにタッチしながら右に動かす。

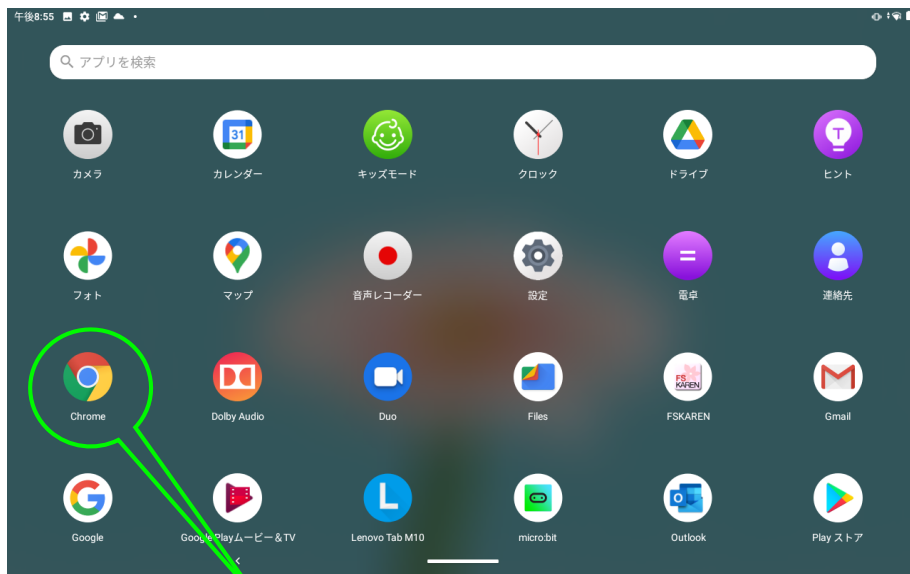


その場所で使用できる Wi-Fi の SSID が表示されるので、その中から一つを選
ぶと、パスワード入力画面になる。

選んだ SSID のためのパスワードを入力して **接続** をタッチする。



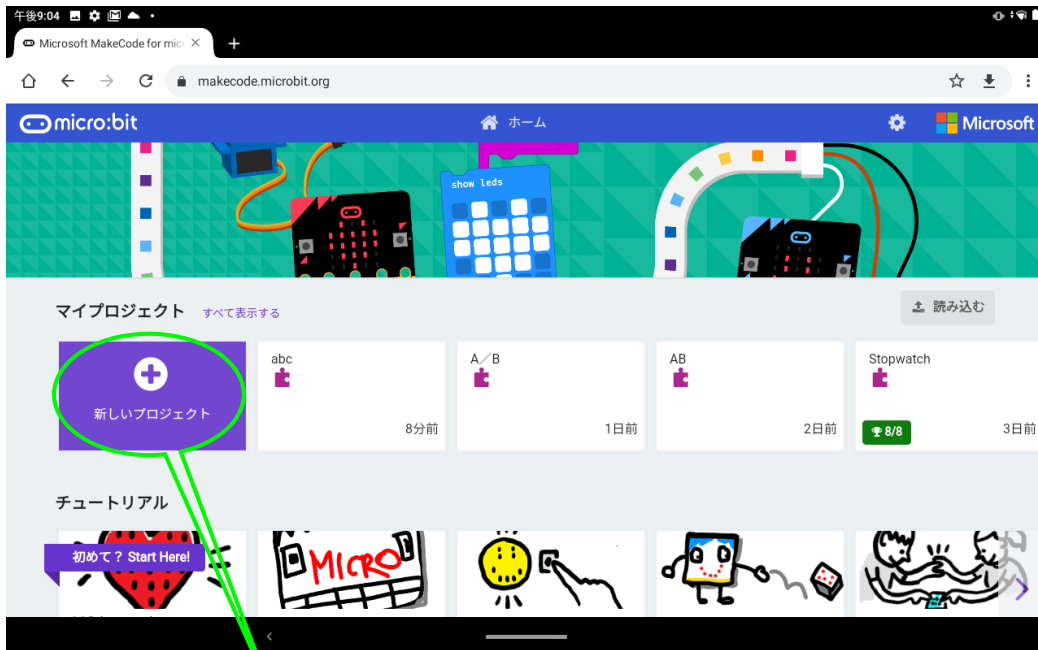
Wi-Fi に接続されると  **TC1**
接続済み のように「接続済み」の状態になる。




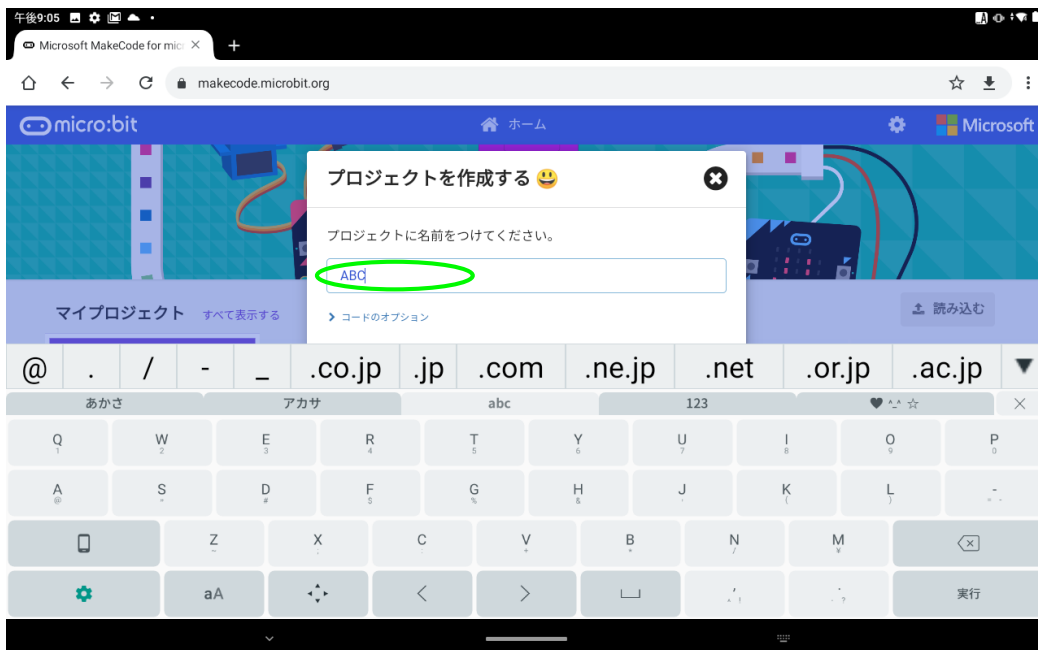
アプリ一覧の中から  をタッチして Chrome WEB ブラウザを立ちあげる。

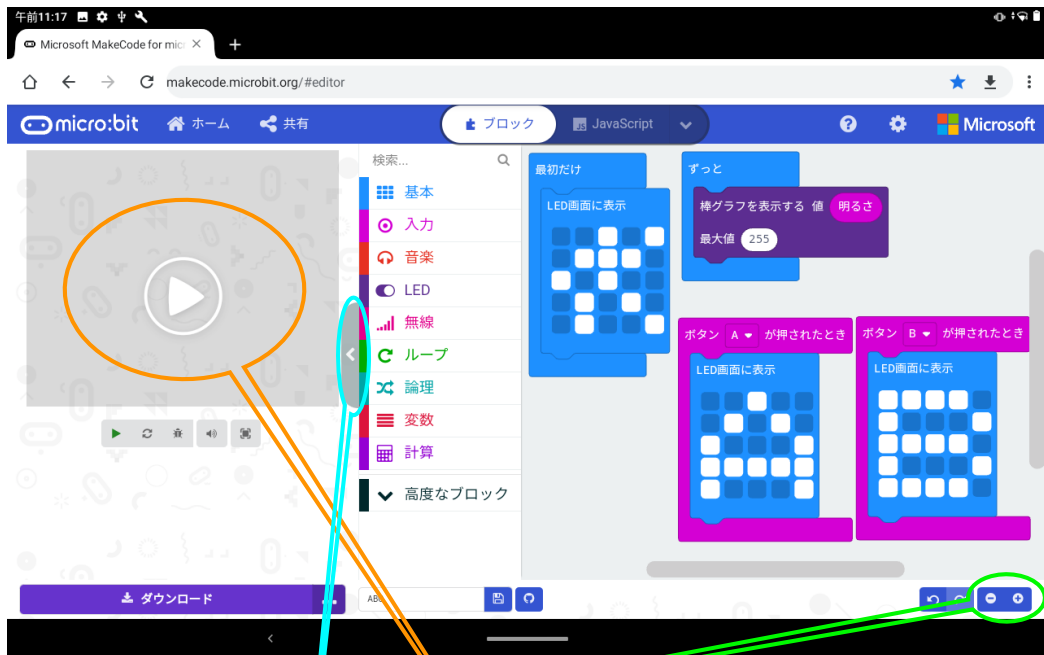



検索ウインドに `makecode` や `microbit` などの用語を入力して、「Microsoft MakeCode for micro:bit」を見つける。または、makecode.microbit.org をアドレス部分に入力して読みこませる。






新しく始めるときは  にタッチ、好きな名前をつけプログラムを作成する。
つづきの時は、その右に並んでいる、前のプログラム名の部分にタッチする。



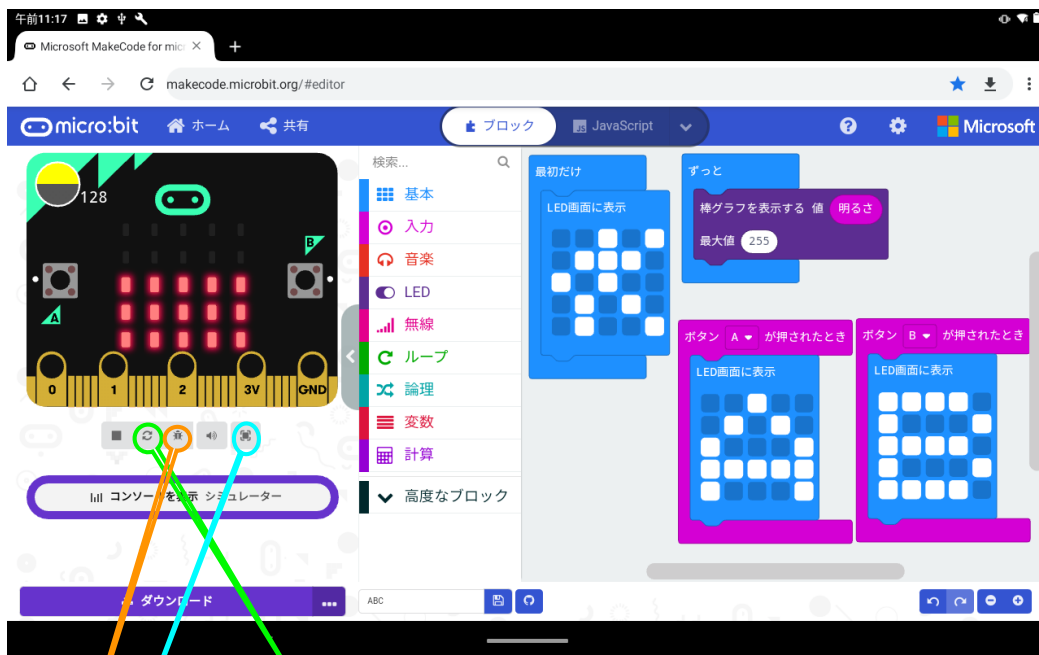



右下の  へのタッチで、プログラム部分が縮小／拡大される。


シミュレータを動かしたいときは、左の  をタッチする。


シミュレータの横の  にタッチするとプログラム領域が広がり  で元にもどる。


(このプログラムでは micro:bit 表面にとどいている光の明るさが表示されます)

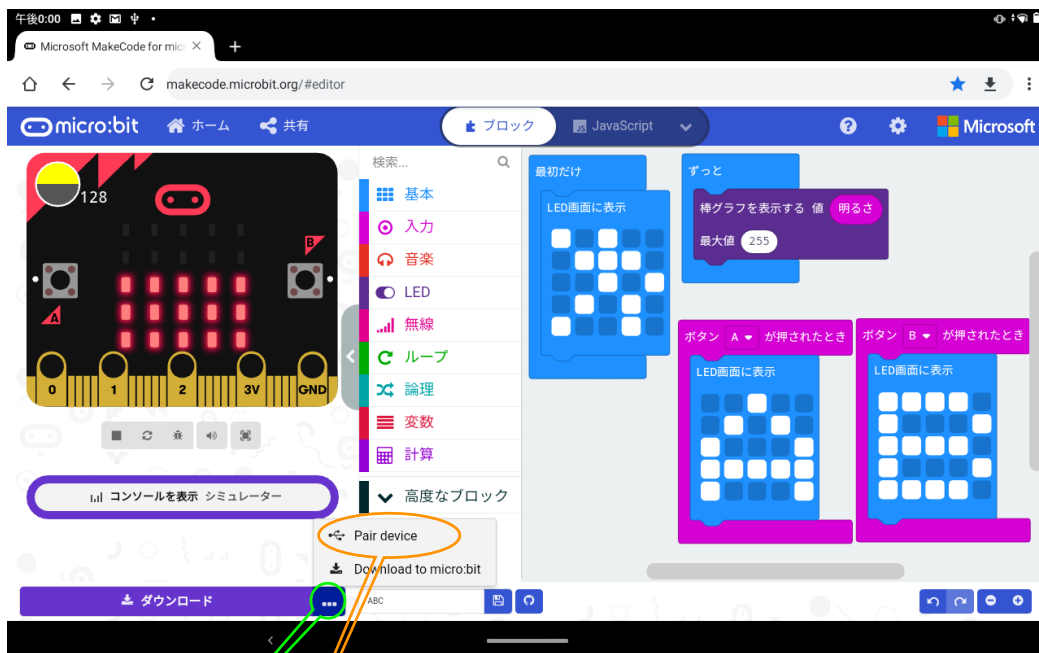


シミュレータのマーク  にタッチすると、プログラムを最初から実行する。




 にタッチすると、シミュレータの動きがおそくなる。

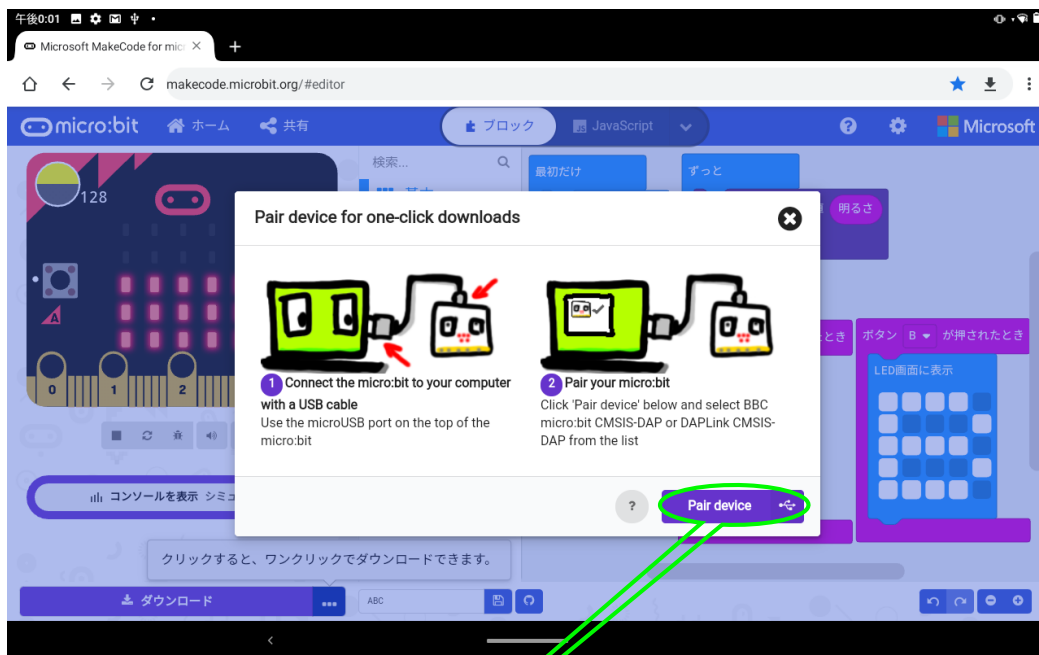
 にタッチするとシミュレータが大きくなる。

大きくなったあと、 にタッチするとシミュレータが元の大きさになる。

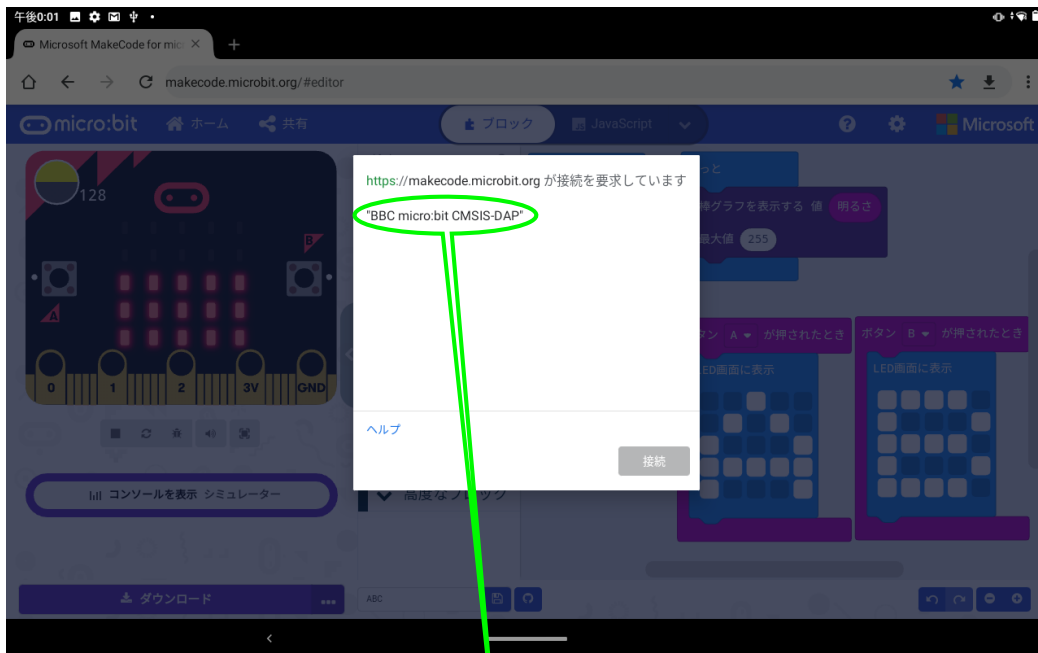


タブレットの USB 充電ケーブルをはずし、microbit を USB ケーブル(両端が Micro-B)でタブレットにつなぐ。

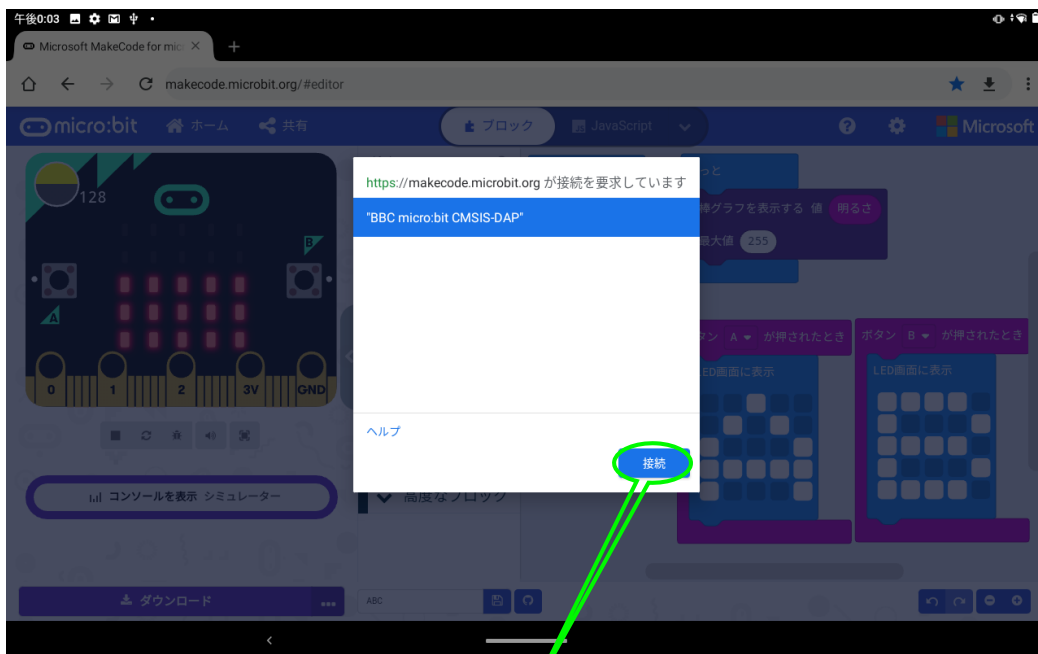
下部  にタッチした時に表示された  デバイスを接続する または  Pair device の部分にタッチする。



中央に表示された **Pair device** の下部 **デバイスを接続する** または **Pair device** の部分にタッチする。



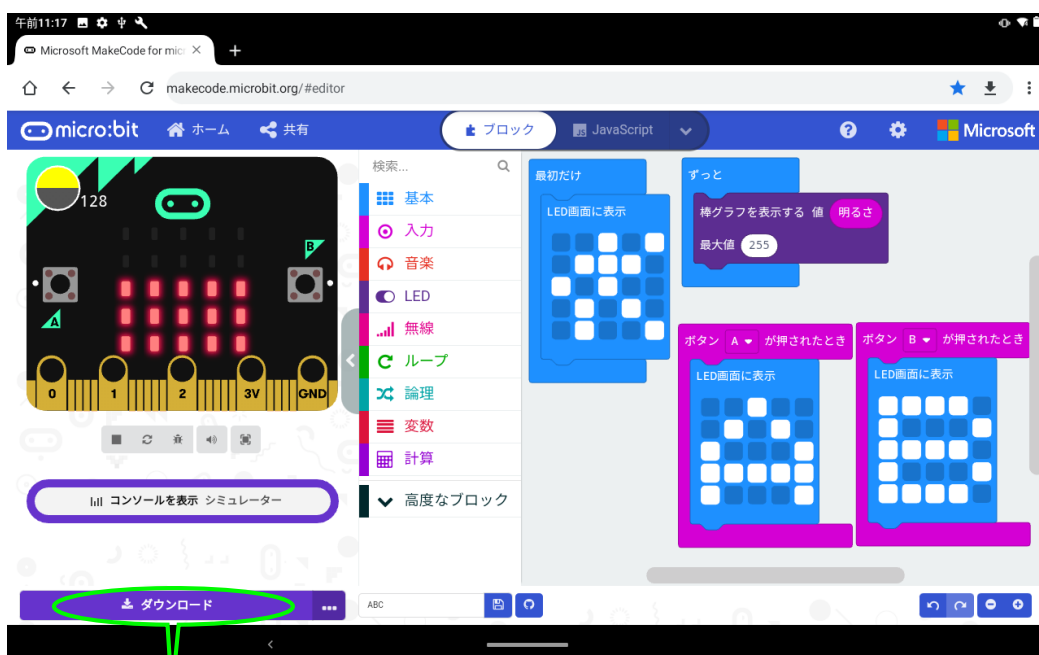
画面中央に表示された "BBC micro:bit CMSIS-DAP" にタッチする。



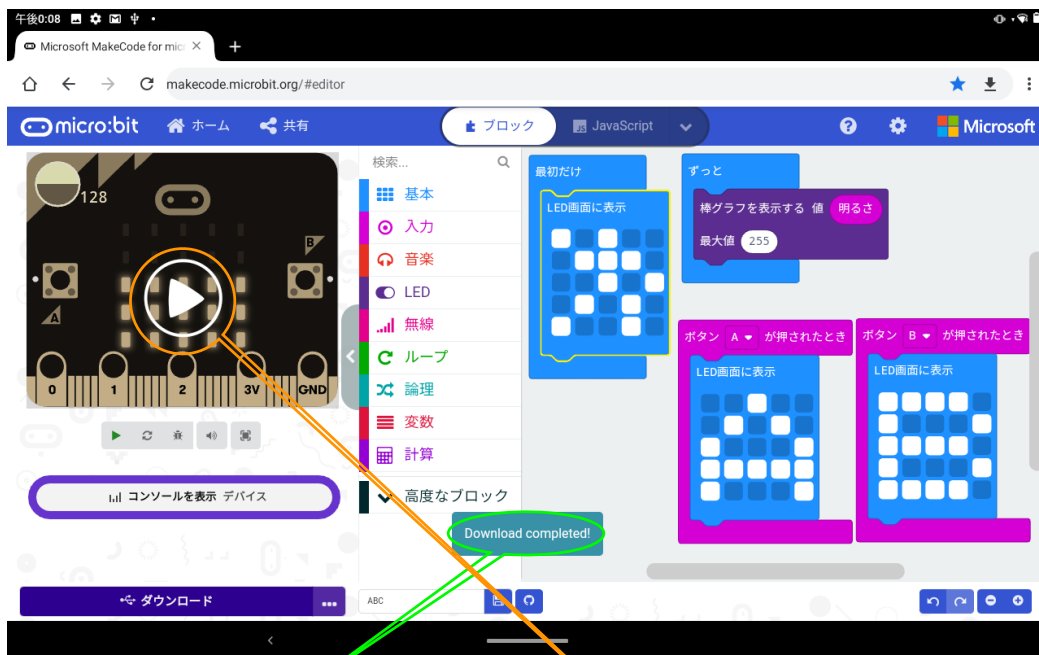
ウインド下部の青色に変わった **接続** の部分にタッチする。




Chrome と書かれたウインド下部の **OK** をタッチする。

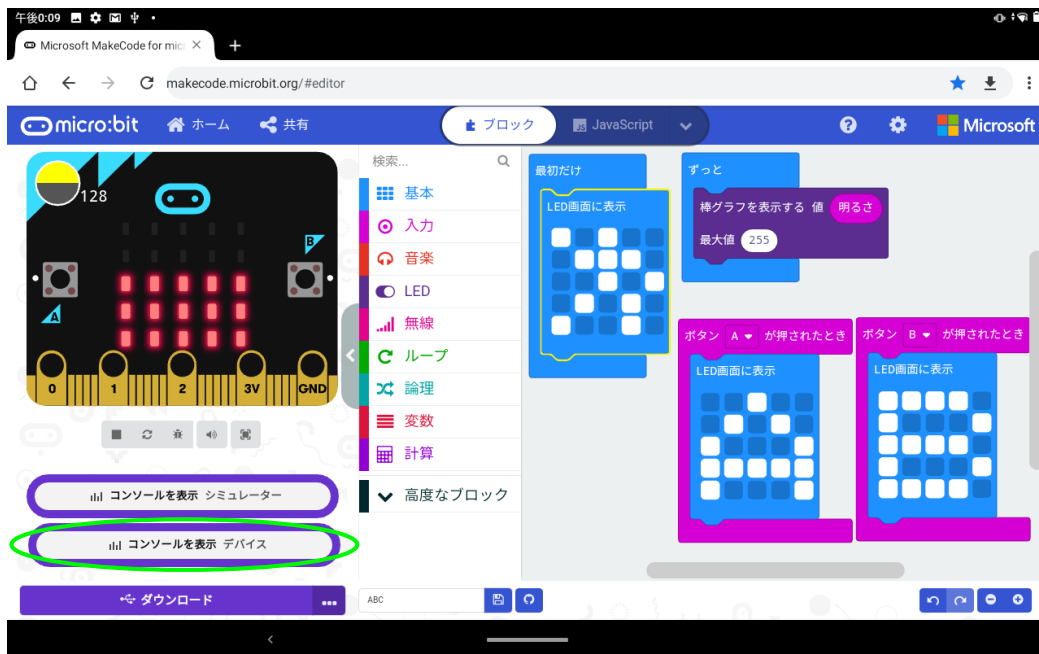


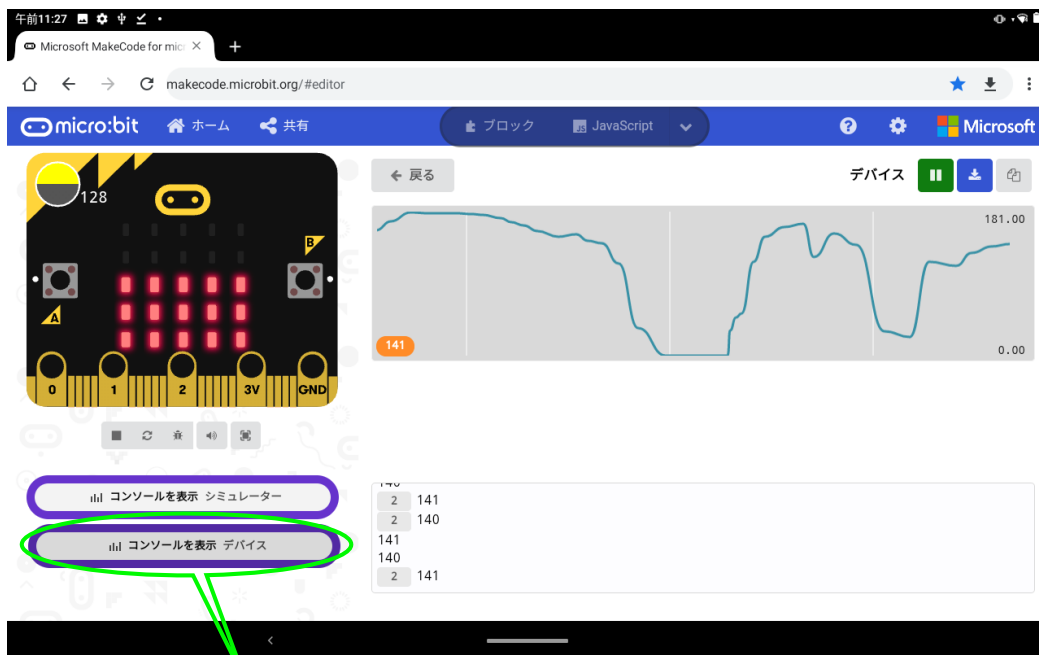
左下の **ダウンロード** にタッチすると、プログラムが転送される。



Download completed! の表示が出ると、microbit へのダウンロードが終了。

シミュレータが止まっていて、また動かしたいときは  をタッチする。





シミュレータの **lll コンソールを表示 デバイス** にタッチすると microbit からのデータを調べられる。このプログラムでは microbit 表面の明るさがグラフで表示されている。

(microbit に手をかざしてみてください。光の明るさでグラフが変化します)

← 戻る でもとのプログラム作成画面にもどる。

なお、microbit とタブレットをつないでいる USB ケーブルをはずし、microbit に電池ボックスをつなぐと、タブレットなしで動かすことができる。

また、プログラムを書きかえながら何度でも microbit にダウンロードができる。ただし、タブレットと microbit をつなぐ USB ケーブルをはずして、もう一度つなぐと、5 ページ前の「microbit を USB ケーブル(両端が Micro-B)でタブレットにつなぐ」からのデバイス接続の方法をくりかえす必要がある。